

平成 21 年 6 月 16 日現在

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2006～2008

課題番号：18730117

研究課題名 (和文) EUにおける市民社会組織参加型ガヴァナンスの機能と正統性

研究課題名 (英文) Functions and Legitimacy of the EU Participatory Governance Involving Civil Society Organizations

研究代表者

網谷龍介 (AMIYA RYOSUKE)

明治学院大学・国際学部・準教授

研究者番号：40251433

研究成果の概要：本研究は、ディスコースの流れに注目し、欧州司法裁判所が政治過程に与えるインパクトや、欧州諸機関を取り巻く政策ネットワークの存在を明らかにし、その中で非政府アクターが果たす役割を検討した。また、上記の政策ネットワークを通じてEUの政策が加盟国に影響を与えることに着目し、その作動条件と限界をイメージとして「断続的ヨーロッパ化 punctuated Europeanization」のメタファーを提案した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,100,000	0	1,100,000
2007年度	900,000	0	900,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,600,000	180,000	2,780,000

研究分野：政治学

科研費の分科・細目：国際関係論

キーワード：EU, 市民社会組織, ガヴァナンス

1. 研究開始当初の背景

ヨーロッパ統合研究の焦点は長らく加盟国政府と超国家機関の關係に絞られてきた。この点は「多層ガヴァナンス」という語の定着によく表れている。しかし、それが同時に「参加ガヴァナンス participatory governance」というべき側面を持っていることは、それほど注目されていない。すなわち、EUの超国家機関は、古典的な主権国家に比べれば「弱い」政府であり、加盟国政府に対抗するうえでも、社会諸組織の協働を必要としているのだが、その点への注目は弱かった。

2. 研究の目的

そこで本研究は、主として市民社会組織に着目し、EUの参加ガヴァナンスとしての機能を実証的に明らかにし、それがEUの正統性問題に対して持つ含意を明らかにしようとした。

3. 研究の方法

EUレベルと各国レベルの双方を視野に入れつつ、社会的アクターの戦略を中心に据えた政治過程分析を行い、それを通じて社会政策の領域におけるガヴァナンスの実体を明らかにしようとした。

4. 研究成果

本研究が主として明らかにしたのは、EU レベルの政策形成過程である。とりわけ本研究は、ディスコースの流れに注目することで、欧州司法裁判所が政治過程に与えるインパクトや、欧州諸機関を取り巻く政策ネットワークの存在を明らかにした。

また、加盟国レベルにEUの政策が影響を与える具体的な回路として、上記の政策ネットワークに着目し、それが作動する条件とその限界を検討した。そして、これを総合するイメージとして「断続的ヨーロッパ化 punctuated Europeanization」のメタファーを提案した。

これらの成果を明らかにした諸論稿はすでに国内の他の論稿には引用され始めている、また、国外でも研究報告を行ったほか、SSRN(Social Science Research Network)やAEI(Archive of European Integration)にもペーパーをアップロードし、少しずつではあるがダウンロードされている。

今後の課題は、断続的ヨーロッパ化のメタファーの適用可能性を検証するとともに、政策が形成されていく「アップロード」の過程における加盟国社会アクターの影響を検討することによって、EU社会政策におけるガバナンスの全体像とそのダイナミクスを、まとまった形で公刊することである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

網谷龍介「ヨーロッパ型デモクラシーの特徴」、網谷龍介・伊藤武・成廣孝編『ヨーロッパのデモクラシー』(ナカニシヤ出版, 2009年), 1-23 頁.

網谷龍介『『社会モデル』言説の定着とその制度的基盤——EU レベル専門家ネットワークの機能——』平島健司編『国境を越える政策実験・EU』(東京大学出版会, 2008年), 61-94 頁.

網谷龍介「EU における社会政策のダイナミクス——超国家機関の自律的政策形成と政策の『市民権』化——」樫村志郎編『規整と自律 (法動態学叢書・水平的秩序 3)』(法律文化社, 2007年), 147-173 頁.

網谷龍介「ポストナショナルな統治体の動的把握のために——中村民雄編『EU 研究の新地平』からの示唆——」『社会科学研究』, 第 58 巻第 2 号, 2007 年, 205-213 頁.

網谷龍介「団体ガバナンスの民主化? ——ドイツにおける宗派系社会福祉団体の柔軟化と開放——」小川有美編『ポスト代表制の比較政治——熟議と参加のデモクラシー』(早稲田大学出版部, 2007年), 127-150 頁.

[学会発表] (計 2 件)

AMIYA-NAKADA, Ryosuke, " From the 'Rescue of the Nation State' to the Emergence of European Spaces " EUIJ 関西国際ワークショップ, 2008年5月10日, 豊中 (大阪大学).

AMIYA-NAKADA, Ryosuke, ."Transposition on Strategy and Political Time in the Europeanisation of Social Norms: Comparing Transposition of the Anti-discrimination Directives in Germany and Austria", General Conference of the European Consortium of Political Research, 2007年9月8日, ピサ (イタリア).

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]

6. 研究組織

(1) 研究代表者

網谷 龍介

明治学院大学・国際学部・教授

40251433

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者